

# 一般質問12の視点

「歩いて・見て・聴いた」こと「議員自身の提言」も交えて、町に考えを質す！  
6月定例会でも、あらゆる町の課題に、議員一人一人の目線で、執行部と  
真剣な議論を展開。今後の町の動向にも注目！



- P14 商店増対策
- P14 災害トイレ
- P13 若者支援
- P13 SRHR
- P12 公共施設
- P12 経済的支援
- P11 ジェンダー
- P11 災害対策
- P10 戦後80年
- P10 観光振興
- P9 洋式トイレ
- P9 観光客誘致

各議員のQRコードから一般質問の録画映像を見ることができます。  
スマートフォン等からアクセスして、ぜひご覧ください。  
全質問項目は、下諏訪町ホームページから見るすることができます。

下諏訪町議会  
議会中継  
チャンネル



質問順

- 1 大橋 和子  
心に訴える観光
- 2 松井 節夫  
中山道沿線にトイレ設置を
- 3 高橋 幸二  
サイクルツーリズム促進は
- 4 花岡 進  
核兵器禁止条約への見解は
- 5 豊島 健之  
町北部の治山と河川管理は
- 6 青木 利子  
男女共同参画社会の実現
- 7 金井 敬子  
町独自の物価高騰対策を
- 8 林 元夫  
老朽化する公共施設整備は
- 9 竹元 完奈  
SRHRの啓発は
- 10 林 吉広  
若者への結婚支援の方針は
- 11 野沢 弘子  
避難所トイレの受入前準備
- 12 樽川 信仁  
商店を増やすための施策は

2025年6月10日



## 観光客誘致 心に訴える観光

答弁 御柱祭を控え、  
活用を研究したい

問 鉄腕アトムや万治くんのキャラクター活用による観光客誘致の考えは。

産業振興課長 グッズや土産物品の販売は地域経済に貢献できる。御柱祭を控え、活用を研究したい。

### エネルギーを大切に

問 プラ資源分別収集の状況は。  
住民環境課長 4月に9トン、5月に8トンを回収。1か月の推計量13〜14トンより少ない。

問 分別収集の課題、方法の改善。住民環境課長 当初は対象外の物が入っていたが、減少傾向。燃やすすごみ減量の実感、収集日の増加を希望する声があるので、適切な時期にアンケートを取る。  
問 ゼロカーボンの計画達成状況と課題は。



©Tezuka productions  
鉄腕アトムや御柱祭マンホールの蓋

住民環境課長 2030年度までに住宅太陽光発電設備、蓄電池設備導入を400件補助する目標が、昨年度末で369件。二酸化炭素排出量60%削減の目標に対し、現在は25%程度。  
問 諏訪市や岡谷市に並び、給水スタンドを設置する考えは。  
住民環境課長 実証実験的に設置する方向で検討を進めている。



## 洋式トイレ 中山道沿線にトイレ設置を

答弁 木落とし坂の下、  
星ヶ塔付近に検討

問 避難所のトイレを洋式に。総務課長 公共施設は洋式化、一部和式も残している。  
建設水道課長 18箇所の公園にあるトイレ22基を洋式化済み。  
問 女子トイレを増やせないか。総務課長 トイレ面積は課題。施設改修時に検討する。

問 災害時に備えて簡易トイレの斡旋をして欲しいが。総務課長 防災訓練に簡易トイレの使い方も実施している。斡旋を検討する。

### 農業振興について

問 増加する遊休農地の活用策は。産業振興課長 窓口相談や農地パトロールで、遊休農地の把握に努めている。土地所有者の4分の1が貸与を希望している。情報発信



災害用簡易トイレ 庁舎2階に展示

問 町長のイタリア訪問の準備状況と、住民説明は。  
町長 9月から10月予定で調整。経費削減に努め、報告会を予定。

問 米づくりの奨励策は。産業振興課長 米農家は少ないが、用水路の確保等支援している。  
イタリア訪問について



観光振興  
たかはし こうじ  
高橋 幸二

### サイクルツーリズム促進は 諏訪ライドパス事業 にも協力

**問** 観光によるまちづくりの具体的な事業は。  
**産業振興課長** 住民・事業者とワークショップ、地域づくりセミナーを実施。小学生向けの「下諏訪新発見の旅」も行った。  
**問** 定量的なデータを含めた観光マーケティングが必要。どのように評価するか。  
**産業振興課長** R6からリクルートと連携。「おでかけウォッチャー」「オンラインアンケート」による、データ収集を行っている。

**問** 下諏訪の魅力を活かした稼ぐ観光の実践は。  
**町長** 下諏訪ならではの、満足する旅の提案をしていく。  
**町政課題研究会とは**  
**問** 事業立ち上げの経緯、メン



サステナブルな旅アワード大賞！

バー構成、地元の重鎮の参加は。  
**町長** 専門家や外部講師を入れて人材育成・プレイヤーの発掘を実践。メンバーは、役員職員・若手起業家・移住者・商工会議所など。重鎮の知見は大切だが、若手の人材育成・発掘がメイン。  
**問** 事業の目指す「ゴール」は。  
**町長** 行政と住民が協力しあってまちづくりが進むことが理想。



戦後80年  
はなおか すむ  
花岡 進

### 核兵器禁止条約への見解は 国に意見を述べる 立場にない

**問** 戦後80年にあたっての町の取り組みは。  
**教育こども課長** 広島平和教育体験研修で平和記念資料館を訪問。平和・戦争展は平和の絵本セットなど多彩な企画を予定。  
**問** 被爆アオギリ二世の広報や、平和の灯の分火は。  
**町長** 立札を見やすくする。分火は場所の確保や管理上困難。

**自治体DXへの対応は**  
**問** 情報システムの標準化で町独自施策の後退や窓口対応の職員が減らされないか。  
**総務課長** 町独自サービスは後退させず、職員減は想定していない。  
**問** 日本ナレッジとのICTに関する包括連携協定の内容は。  
**町長** 中学校の部活動地域移行に



下諏訪中学校の被爆アオギリ二世

合わせIT関連の部活創設を計画。  
**医療・介護の改善は**  
**問** 診療報酬、介護報酬の引き上げを国に求める考えは。  
**町長** 町村会を通じて国に要望していく。  
**問** 医療費負担増へ町独自支援は。  
**町長** 国民全体で負担。町独自の支援は法的に認められない。

**災害対策**  
**問** 町内北部山中に散見する斜面崩壊の実相をどう判断するか。  
**総務課長** 七区山地福沢川流域は、地形的にも急峻かつ沢が多く、土壌の含水率が高い可能性がある。また深層崩壊の危険性が相対的に高いことや複数の活断層が存在する可能性がある等、地質的要因が重なっている点にも注目している。このことから断層活動による地盤変動の他、気象変動による土砂災害の危険性等についても広報活動や防災啓発を継続していく。  
**問** 福沢川の流れを阻害している崩落斜面の現状分析と対策は。  
**建設水道課長** 福沢川沿いの法面崩壊については、河川による浸食と考えられる。現場は県管理の河川となるので、県管轄課と現地確認を行う等連携を図りながら継続



災害対策  
とよしま たけゆき  
豊島 健之

### 町北部の治山と河川管理は 県管轄課と連携して 対応する

的に対策の要望を上げていく。  
**市街地にも潜む危険性**  
**問** 町総合ハザードマップの液状化マップが目立たないが。  
**総務課長** 町民が液状化の状況を自分事と意識することは重要。ハザードマップ改訂時には町民が具体的なイメージを持てるよう工夫改善が図れたらと考えている。



斜面崩落による福沢川の惨状

**ジェンダ**  
**問** R7年度の男女共同参画週間の町が予定する取り組みは。  
**総務課長** 町図書館で6月17日から29日まで啓発パネル展を行い関連図書を紹介もする。  
**問** しもすわ男女共同参画推進委員会の活動と課題は。  
**総務課長** 各区男女1名ずつの任命と関係団体の代表者からなる。「第7次下諏訪町男女共同参画計画」素案への意見聴取を予定。今は委員からの課題は出ていない。  
**問** 災害時の男女の違いによって生じる課題は。  
**総務課長** 過去の災害時には避難所のプライバシー、DVの問題をはじめ特に女性が困難に直面する事例が報告されている。平時から女性の視点を取り入れた備えや避難所の運営ルール作りが大切。



ジェンダ  
あおき としこ  
青木 利子

### 男女共同参画社会の実現 女性の視点を 取り入れたルールを

**プラスチック回収は**  
**問** 多様な世代に対応する、プラスチック資源物収集日の周知は。  
**住民環境課長** ガイドブックを作成し、カレンダーと共に全戸配布した。地区の収集日がわかるように表紙に記入欄も設けた。ごみ分別アプリは一度登録すれば非常に便利なので利用して欲しい。



図書館での啓発パネル展示



かない けいこ 金井 敬子

### 経済的支援

問 小中学校保護者の皆さんから、「個人購入が必要なのか疑問を感じる」ものに、鍵盤ハーモニカ・彫刻刀・リコーダー・理科の実験セットなどがあげられている。使用期間の短いものは、学校備品にできないか。

教育長 衛生面や卒業後の使用も鑑み、個人所有と判断している。

問 「こういう品が必要では」も含め、保護者の意見を把握し、集団的な検討を進めてほしいが。

教育長 それぞれ考え方があって思うが、保護者の意向に沿うことは大事な視点。考えたい。

問 給付型奨学金の支給月額、物価上昇に合わせた増額を。

教育長 国の高校無償化などの動向もあるので、支給額が同額の貸与型奨学金も含め総合的に

### 町独自の物価高騰対策を

答弁 財政面で慎重にならざるを得ない

な検討が必要。

町でも「誰でも通園」

問 課題の多い「誰でも誰でも通園制度」。国の方針に沿って、来年度から開始するののか。

教育長 保育士確保と、場所の調整が一番の課題だが、総合的に解決しながら万全な準備をしていく。



子育て環境整備に有効な実施を期待



はやし もと お 林 元夫

### 公共施設

問 諏訪湖博物館の改修はどのように進めるか。

町長 開館から33年が経過しており、老朽化が進んでいるので、大規模改修を計画する。

問 老人福祉センター、ハイム天白や地域活動支援センターは、屋根・外壁などの改修が必要。3施設とも将来的な展望をもって考えなければいけないが。

町長 必要性が高い施設で、在り方も検討する中で、計画的に。

ふるさと納税推進を

問 ふるさと納税の推移は。

総務課長 昨年度は、2千万円を超える寄附があり、新たに導入した現地決済型ふるさと納税額は約293万円であった。

問 「企業版ふるさと納税」のトツ

### 老朽化する公共施設整備は

答弁 あり方も含め検討し計画的に

プセールスを。返礼品についても新たな取り組みを。

町長 町・企業にとって相互に有益なので進める。返礼品は、町独自のものを企業と共に開発。

問 行財政経営プランを作成する過程での留意点は。

町長 大型投資の平準化や基金積立による財源確保。行政サービスを損なわないよう留意。



ふるさと納税を報じる記事



よしひろ よしひろ 吉広

### 若者支援

問 出生数・婚姻数の激減に歯止めをかけるには若者への「結婚支援・結婚応援」対策が必須と考えるが町の考えは。

町長 少子化対策には若者に対する結婚支援が必要であることは十分に理解している。これまでにも町が行ってきた結婚支援策を今後も可能な限り継続していくことが重要と考える。加えて町が行う取り組みだけでなく、今後の県や国が行う施策にも注視をしながら町の支援内容を充実させていきたい。

問 町の少子化問題はもはや危機的状況である。結婚支援を考える中でハラスメントを十分に考慮しなければならぬが、もっと踏み込んだ結婚支援対策が考えられないか。

### 若者への結婚支援の方針は

答弁 婚活イベントの開催や補助金など

町長 若者の結婚に対する価値観が多様化している。ハラスメントへの配慮は重要であり、これを踏まえながら町としては継続性をもった結婚支援策を講じたい。現在、結婚イベントの開催、結婚新生活支援事業補助金、結婚新生活支援住宅などを提供し、結婚を機に新しい生活をスタートされる若い世代への後押しを推進している。



安心して子どもが産める社会へ！！

### SRHR



たけもと かな 竹元 完奈

※SRHRとは：性と生殖に関する健康と権利。

問 「第6次男女共同参画計画」の中にもSRHRの知識浸透を図るとあるが、具体的な取り組みは。町長 男女共同参画週間のパネル展では、ジェンダー平等や避妊所運営をテーマに展示。健康支援として町全体で取り組む。

生理用品の無料配置

問 学校での生理用品の無償提供の現状は。

教育長 保健室にて養護教諭から渡して無償提供している。

問 トイレへの生理用品設置は。

教育長 児童生徒のニーズや保護者からの要望があれば検討したい。町内公共施設での生理用品の無償提供の現状は。



SRHR（性と生殖に関する健康と権利）

### SRHRの啓発は

答弁 健康支援として町全体で取り組む

総務課長 R3年度からご寄附された生理用品を、公共施設窓口で意思表示カードを提示された場合に配布。計16箇所にカードを設置。

問 公共施設への生理用品の設置やアクセスしやすい提供方法を検討いただきたいが、町長の考えは。

町長 先進事例も参考にしながら、公共施設における生理用品の設置、配布方法も研究していきたい。



## 災害トイレ

のざわ ひろこ  
野沢 弘子



**問** 大災害時のトイレの備えは万全か。避難所のトイレ環境は。

**町長** 災害時におけるトイレの衛生環境は、避難生活の質の向上や健康に直結する極めて重要な課題である。町ではマンホールトイレ、簡易トイレの整備に取り組んできた。避難所トイレの衛生管理、運用面の体制整備も研究を進める。

### 給水スタンドの設置を

**問** CO2削減・ペットボトル削減に、給水スタンドの設置を。猛暑による熱中症対策として、マイボトル・水筒に水道管直結の水や、冷却した水の提供を。

**住民環境課長** 当町では諏訪市と岡谷市の取り組みを参考に、現在給水スタンドの設置場所を選定しており、決定次第ご報告をさせて

## 避難所トイレの受入前準備

**答弁** 災害時トイレは極めて重要な課題

いただく。

### 家庭用温泉使用料値下げを

**問** 配湯事業の加入者減少対策に、毎月の使用料値下げは。

**建設水道課長** 温泉施設の維持管理に必要な費用や、老朽化に伴う設備の更新費用など多額の費用が必要。R9年度に予定している、公営企業会計への移行後に、検討したい。



39年間使用している家庭用温泉タンク

## 商店増対策



たるかわ のぶひと  
樽川 信仁



**問** 商店を増やすための工夫と施策は。

**産業振興課長** 商工業振興助成金や固定資産税の減額、制度融資等の起業支援を実施している。

**問** キッチンカーに対する支援はできないか。

**産業振興課長** 商工会議所は多角的な支援をしている。椅子、テーブルは相談で対応している。キッチンカーから店舗展開につながる事を期待する。

### 温泉施設の利用促進

**問** 温泉施設の利用状況は。

**建設水道課長** 地元利用者は減少傾向、観光客は増加傾向となっているが、全体では減少している。利用者には気持ちよく利用してもらい、また来たいと思ってもらえ

## 商店を増やすための施策は

**答弁** チャレンジ起業補助金等あり

るような浴場づくりに心がける。

**問** 小中学生の無料入浴券の利用状況は。

**建設水道課長** 利用率は低いが、下諏訪温泉の良さを感じて欲しい。

**問** 大浴場の建設、誘致はあるか。

**町長** 誘致の働き掛けはしている。温泉はなくてはならない。規模にかかわらず、地域に愛される温泉を守り活用を根付かせたい。



賑わいある商店を目指します！